

第2学期中間考査 日本史B 問題

I、文中の[]は語群より選び記号で、< >は自分で考えて、それぞれ適語を記せ。また下線部の問いに答えよ。

1068年、摂関家を外戚としない[1]天皇が即位、①強力な国政の改革をすすめた。この天皇のあとを継いだ[2]天皇は1086年天皇の位をゆずり上皇として政治の実権をにぎった。こうした政治のあり方を[3]と呼ぶ。

上皇たちは荘園整理の断行を歓迎する[4]たちを支持勢力にとり込み、②武士も組織して、院の権力を強化した。こうして、天皇の命令よりも、[5]など上皇の命令の方が強い力を持つようになった。こうして巨大な力を持った上皇たちは③大寺院をつぎつぎと造営、堂塔・仏像をつくって盛大な法会をおこなった。上皇のまわりには、< A >とよばれる一団が集まり、上皇の力で豊かな国の国司などに任命された。またこのころ、上級貴族らに一国の支配権をあたえ、その収益を取得させる< B >制度などもはじまった。他方、大寺院も多くの荘園を所有し、下級僧侶を< C >として組織、神木などを先頭に、朝廷に強訴した。

1156年、[6]上皇の死をきっかけに、[7]上皇と後白河天皇の間の対立が激化、ついに[8]の乱が発生した。さらに1159年には[9]の乱も発生した。この二つの乱のなかで貴族社会内部の争いも< D >の武力で解決されることを明らかとなった。

こうしたなか、武力を背景に昇進をとげ、ついには太政大臣の地位に就いたのが桓武平氏の棟梁[10]である。彼は、④経済の新しい動きに注目するなどの新しい面を持ちながらも、⑤貴族的性格を強くもっていた。この一族の勢力拡大は旧勢力と対立を深め、1177年には[11]の陰謀も発生した。1179年、平氏は⑥後白河法皇を幽閉して武力で政界の主導権をにぎったが、かえって院や貴族、寺社、源氏などの反対勢力の結集をうながした。そして1180年以仁王を奉じて蜂起した[12]の反乱をきっかけに、各地の武士たちが蜂起、⑦源平の争乱が発生した。

(ア)鳥羽 (イ)元弘 (ウ)院政 (エ)白河 (オ)平治 (カ)後三条 (キ)崇徳 (ク)平治 (ケ)保元 (コ)源頼政
(カ)源義朝 (シ)平将門 (ス)受領 (セ)詔勅 (ソ)治承・寿永 (タ)院宣 (チ)関ヶ原 (ツ)鹿ヶ谷 (テ)平清盛

< 設問 >

①この天皇が、1069年発布した明確な証拠のない荘園以外の特権を停止した命令の名を記せ。

②上皇の御所を警備する武士たちを何というか。下から選び記号で記せ。

(ア)北面の武士 (イ)滝口の武士 (ウ)南面の武士 (エ)追捕使 (オ)西面の武士

③この費用は、どのような形で準備されたのか。簡潔に記せ。

④この人物は、大輪田泊の修築などによってどのようなことをすすめようとしたのか、記せ。

⑤平氏政権の貴族的性格を示すと思われる事例を一つ記せ。

⑥後白河法皇が編纂した『梁塵秘抄』にまとめられた当時の民間の歌謡を何というか。下から選び記号で記せ。

(ア)猿楽 (イ)浄瑠璃 (ウ)小唄 (エ)田楽 (オ)今様 (カ)歌舞伎

⑦この戦いの模様などを描いた平家物語について記した以下の文の空欄に入れるべき適語を記せ。

平家物語は、平氏の盛衰と源平の争乱の様子を、仏教的な[1]観によりながら、実在の武士たちの活躍を生き生きと描きだした傑作である。[2]によって平曲として語られ、文字を読めない人びとにも広く親しまれた。

Ⅱ、文中の[]は語群より選び記号で、< >は自分で考えて、それぞれ適語を記せ。また下線部の問いに答えよ。

1180年、関東で反乱を起こした[1]は、< A >に拠点を置いて動こうとせず、1183年には①自らの代理として弟の[2]らを派遣、京都にいた[3]を討ち、1185年には平氏を滅亡させた。さらに、[2]追討を口実に②守護、③地頭の設置を朝廷に認めさせ、1189年には④平泉に拠点を置く奥州藤原氏をも滅ぼした。

1199年、[1]の死後、急速に力を伸ばしたのが、[1]の妻政子の実家北条氏である。政子の父北条時政は頼朝死後の混乱に乗り有力御家人を次々と倒し、大江広元とともに[4]別当に就任した。時政失脚後、あとをついだ[5]は和田義盛を倒し、⑤侍所別当の地位を奪った。北条氏は、こうして幕府の実権を獲得、< B >と呼ばれた。

このころ、京都では⑥< C >上皇が院政を復活、公家による政治回復をめざしていた。1219年、鎌倉で三代将軍[6]が暗殺されると、1221年上皇はそれに乗じて[7]の乱を起こしたが大敗した。幕府は⑦三上皇を流刑とする一方、上皇側の所領を没収し、そこに地頭を任命した。このとき任命された地頭を⑧新補地頭という。また京都に< D >を設置、朝廷の監視・京都内外の警備・西国御家人の統括などに当たった。

この乱の後、あらたな幕府政治の枠組みをつくったのは三代執権の[8]である。かれは⑨合議制にもとづく政治を心がけた。また⑩裁判の基準になる法令が制定された。

武士たちは力を増すと、地頭らは各地で年貢納入を行わないなど⑪荘園領主との対立を深め、さらに⑫農民への収奪を強めたりした。

13世紀中期、ユーラシア大陸を席卷したモンゴル帝国(元)が日本に朝貢を求めたが、当時の執権[9]がこれを拒否すると、⑬元は二度にわたって日本を攻撃、⑭武士たちの活躍もあって、これを退けた。しかし、⑮このたたかひの戦後処理は幕府への信頼を著しく低下させた。さらに北条[10]家の専制に反発を持つ武士もふえてきた。こうした状況を受け、幕府は⑯永仁の徳政令を出した。

(ア)源義経 (イ)源義仲 (ウ)源実朝 (エ)源頼朝 (オ)北条時宗 (カ)北条泰時 (キ)北条義時 (ク)北条時頼
(ケ)院庁 (コ)政所 (ク)得宗 (シ)問注所 (ス)悪党 (セ)元弘 (ソ)平治 (タ)承久 (チ)地頭請 (ツ)地頭非法

<設問>

- ①この軍を派遣する条件として、[1]が上皇から得たのはどのような権限を得ることであったのか、記せ。
②守護の権限は大犯三か条に限定されていた。大犯三か条の内容をすべて選び、記号で記せ。

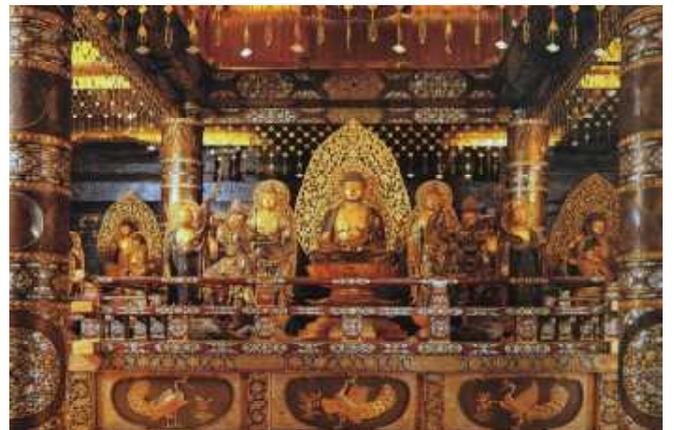
(ア)大番催促 (イ)年貢の徴収 (ウ)守護請 (エ)国内の武士の指揮監督 (オ)謀反人逮捕 (カ)殺害人逮捕

- ③地頭について説明した以下の文のうち、誤りを含むものを1ついえ。

- (ア)すべての荘園や公領にもれなく配置された。
(イ)荘園や公領の治安維持、現地管理などに当たっていた。
(ウ)農民から徴収した年貢を荘園領主や国衙に納入、自分の取り分である加徴金を得ていた。
(エ)将軍が地頭を任命する権限をもつ荘園を関東進止の地という。

- ④この地に現存する写真Aの建物の名を漢字6字で記せ。
⑤侍所の役割を正しく示した文を選び、記号で記せ。

- (ア)武士の掌握や生活の管理
(イ)将軍を補助し、裁判事務を行う機関。
(ウ)一般政務や財務などにかかわる機関
(エ)御家人の監視・監督
(オ)所領をめぐる紛争にかかわる裁判



写真A

- ⑥この上皇の命令で編纂された最後の勅撰和歌集の名を記せ。

⑦この時、流刑にされた順徳上皇は「禁秘抄」で、朝廷の儀式・先例を研究している。このような学問を何というか、下から選び記号で記せ。

(ア)有職故実の学 (イ)大義名分の学 (ウ)訓詁の学 (エ)経世済民の学

⑧これに対し、これまでの地頭は何とよばれるようになったのか。解答欄の指示にしたがって記せ。

⑨政務の重要事項や裁判は有力御家人や政務担当者からなる最高評議機関にゆだねられた。この機関の名を記せ。

⑩この法令にかかわってしるした以下の文について、正しいものを1つ選べ。

(ア)頼朝以来の前例や武家社会の慣習、道徳に基いて制定した。

(イ)貴族（荘園領主）同士や、武士と貴族、武士同士の紛争解決ための基準として作られた。

(ウ)この法令は武家諸法度と呼ばれ、1232年執権北条泰時によって制定された。

(エ)この法令の制定以後出されたものは、格・式とよばれる。

⑪こうした武士たちの態度にたいし、貴族や寺社などの荘園領主はどのような態度をとったのか。誤りを含むものを一つ選び、記号で記せ。

(ア)武士側の非法を訴えるため、幕府に訴訟を起こした。

(イ)一定額の年貢納入のみを義務付け他の一切をまかせた。

(ウ)その地の守護に頼んで年貢納入を請け負わせる守護請を行った。

(エ)荘園を地頭領と荘園領主領の二つに分割するという下地中分を実施した。

⑫こうした地頭の乱暴な態度を、農民たちが荘園領主である高野山に訴えた文書が残っている。それを選び、記号で記せ。

(ア)二条河原落書 (イ)尾張国郡司百姓等解 (ウ)太良庄百姓起請文 (エ)阿氏河荘かな書言上状

⑬(1)元が最初に日本を攻撃してきた出来事を何というか。下から選び、記号で記せ。

(ア)弘安の役 (イ)慶長の役 (ウ)文禄の役 (エ)応永の役 (オ)文永の役

(2)元による一度目の攻撃ののち、元の再来襲に備えて幕府が九州に所領をもつ御家人に課した北九州沿岸警備の軍役をなんというか。

⑭(1)この戦いでの武士の活躍を描いた絵巻物の名を記せ。

(2)この絵巻物は、肥後の御家人竹崎季長が描かせたものである。季長の目的を記せ。

⑮(公開問題)モンゴル襲来以後の幕府の対応が、幕府を滅亡させる原因となったとも言われる。幕府と御家人との本来の関係にも触れながらその理由について、以下の3つの用語を必ず用いて記せ。なお3つの用語は□で囲んで、わかりやすくすること。

一所懸命 奉公 恩賞

⑯「永仁の徳政令」にかかわって説明した以下の文について誤りを含むものを1つ選べ。

(ア)武士たちの多くは分割相続で所領が細分化され、窮乏化がすすんでいた。

(イ)永仁の徳政令は、幕府が窮乏する御家人を救済する目的で出したものである。

(ウ)永仁の徳政令の結果、御家人の所領の質入れや売買が禁止された。

(エ)御家人がそれまでに質入れしたり、売却した所領は無償で返還された。

(オ)この徳政令によって、御家人たちは生活の基盤を取り戻し、鎌倉幕府はいったんその権威を取り戻した。

Ⅲ、次の史料をよみ以下の問いに答えよ。

1. 次の文章は鎌倉仏教の高僧のことばを現代語訳したものです。以下の問いに答えよ。

(1) 人でさえ浄土に往生することができるのです。まして(2)人はいうまでもありません。(中略)
あらゆる煩惱を身にそなえているわたしどもは、どのような修行によっても迷いの世界をのがれることはできません。阿弥陀仏は、それをあわれに思われて本願をおこされたのであり、そのおこころはわたしどものような(3)人を救いとして仏にするためなのです。
ですから、この本願のはたらきにおまかせする(4)人こそ、まさに浄土に往生させていただく因を持つものなのです。(後略)

①文中(1)～(4)には「悪」また「善」のいずれかの文字が入る。そのくみあわせを選び記号で記せ。

(ア)善・悪・善・善 (イ)悪・善・悪・悪 (ウ)善・悪・悪・悪 (エ)悪・善・善・善 (オ)悪・悪・悪・善

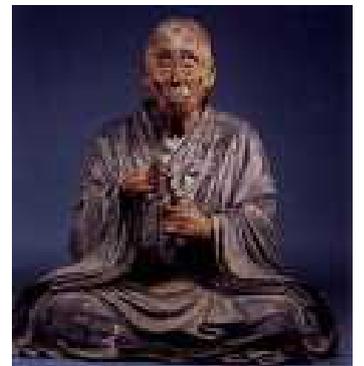
②このことばをいった高僧の師で、浄土宗を開いた人物の名を記せ。

③浄土宗や浄土真宗などは、念仏すれば極楽往生できると説いた。念仏の言葉を漢字で記せ。

④この時期の宗教家にかかわって次のa～eは誰について述べたものか、語群より選び記号でこたえよ。

- a) 中国から渡来し、北条時頼の援助を得て、建長寺を建てた臨済宗の僧。
- b) 時宗の開祖。念仏を唱えながら踊る「踊念仏」を始め、死ぬまで各地で布教し遊行上人とよばれた。
- c) 源平争乱によって焼失した奈良の諸寺の復興のため、各地を回ってその資金を広く集めた写真(2)の人物。
- d) 法華経を正しい教えとし題目を唱えることで救われると説いた。他宗を激しく排斥したため何度も迫害を受けた。
- e) 只管打坐によって悟りが開けると説き、永平寺を創建。主著『正法眼蔵』。

(ア)蘭溪道隆 (イ)一休宗純 (ウ)道元 (エ)一遍 (オ)栄西 (カ)忍性 (キ)日蓮
(ク)重源



写真(2)

2. 次の文に最も関係の深いと思われる人物、書名、または歴史用語で記せ。

①平安末期、人間も社会も転変してすべてはむなしいと説いた鴨長明の作品の名を記せ。

②承久の乱の直前、歴史をつらぬく原理をさぐり、道理による歴史の解釈をこころみた『愚管抄』の著者の名を記せ。



写真(3)



写真(4)

③写真(2)が設計した写真(3)の名を記せ。

④写真(3)に納められた金剛力士像などを製作した仏師の名を記せ。

⑤写真(4)の建物の建築様式の名を記せ。

⑥平安末期に描かれた写真(5)の絵巻物の名を記せ。



写真(5)

⑦写真(6)のような個人の肖像画を何というか、漢字2字で記せ。



写真(6)

⑧北条実時が開設し、和漢の書物を集めた図書館を何というか。